

近畿本部経営工学部会 平成 28 年 6 月 定例会および研修会議事録

開催日時：平成 28 年（2016 年）6 月 25 日（土）13:00～16:30

開催場所：大阪科学技術センター 701 会議室

出席者：18 名

司会進行：幹事 萩野新

配布資料：①平成 28 年 6 月度定例会（研修会）議事進行表、②例会出欠表

③研修会講演配布資料（藤原様）、

④第 43 回技術士全国大会（横浜）経営工学合同専門部会開催のお知らせ
とご案内資料

⑤（公）日本技術士会近畿本部 協賛団体へのご参加のご案内資料

⑥CPD 行事参加票

初参加者：なし

1. 研修会 (13:00～15:30)

(1) 開会挨拶（間島部会長）

下記の 2 つのお話をする。

- ① 今年も「世界 ICT サミット」が東京にて開催され、多くの経営者から情報発信がされましたので HP などを一読ください。
- ② 関西ペイントのグローバル戦略について、該社は自動車の塗料にて有名だが、周回遅れのグローバル化戦略として自動車以外の市場として建築資材（殺虫できる塗料など）を現地マネジメントで実施するという経営手法にて成功されている



(2) 講演

講演者：藤原章治（ふじわら しょうじ）氏

（川崎重工業、技術士（経営工学部門））

テーマ：『ISO/TS16949 の概要について』

講演概要：自動車関連のセクター規格の ISO/TS 16949 は、ISO 9001 をベースとした追加要求事項であるが、ISO 9001 規格に比べ、特異的な面が多い。そこで、以下の特異点を中心にその概要について説明する。

- ① IATF（国際自動車タスクフォース）のメンバーである欧米自動車メーカ及び

各国自動車関連団体の意向を示した「I A T F 承認取得と維持のためのルール」に従うことが優先されること。

②プロセスアプローチの考え方やコアツールの紹介

③到達目標が「サプライチェーンにおける不具合の予防、並びにばらつき及びムダの低減に重点を置いたQMSであること。

④認証監査では、プロセスアプローチに基づく監査が実施され、製造品質（バラツキ分析）に関するパフォーマンス評価状況が認証取得の鍵となる点。

2. 定例部会

(15:40~16:40)

(1) 技術士会／近畿本部および経営工学部会の活動実績の説明

①東日本大震災公開シンポジウム（統括本部主催） 6月10日（金）

②業務研究会との宿泊見学会 6月10日（金）から6月11日（土）

③近畿本部年次大会＋研修セミナー 6月18日（土）大阪技術センターにて

④日本技術士会 第58回定期総会 6月16日（木）東京にて

(2) 経営工学部会の活動予定の説明

①近畿本部業務研修会 6月25日（土）近畿本部会議室

②近畿本部納涼ビアパーティー 7月21日（木）夕刻

（オリックスビル：ホームページ参照）

③経営工学部会8月度「部会＋研修会」8月20日（土）13:30～

近畿本部会議室

演題：（仮）「品質工学の活用」 演者：鶴田明三（経営工学部門）

④西日本技術士研究・業績発表年次大会 10月28日（金）～29日（土）

松江にて

⑤第43回技術士全国大会 11月13日（日）～16日（水）横浜

同上経営工学専門部会

11月13日（日） 13時～

(3) 自由発言・幹事会報告

間島部会長より、次の報告・依頼があった。

①近畿本部協賛団体加入の協力依頼（ホームページに詳細）

② 合同部会研修会のテーマ検討をお願いする件

③ 技術士会活性化のためのアイデアをお願いする件

上記事項については、随時下記へ連絡ください

◆間島部会長のメール：「maji-k122@lemon.plala.or.jp」

④講演者予定として、8月は鶴田明三氏に決定、10月は未定枠、12月は美馬恒治氏にそれぞれ決定。

⑤鶴田氏より、品質工学関連の上梓の紹介があった。発売は7月1日。前評判上々。

(4) 閉会の挨拶（村島幹事）

本日はISO/T Sについてのご講演をいただいた。日本が得意としてきたTQM（とくにその手法）と通じるところが多い。大きな違いは「must」という契約によっている点に思える。管理図や品質工学などもこういった枠組みの中に入れてもっと活用範囲が増えると思う。

以上（文責：村島繁延）